

2008年11月14日

報道関係者各位

GOLD 日本委員会

## 2008年11月19日(水)は世界COPDデー 世界COPDデー関連事業のご案内

Breathless not Helpless!



2008年11月19日(水)は世界COPDデーです。これは、COPD(慢性閉塞性肺疾患)の研究と啓発に力を入れるGOLD(Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease ([www.goldcopd.org](http://www.goldcopd.org)))が主唱し、世界COPD患者団体連合会(International COPD Coalition ([www.internationalcopd.org](http://www.internationalcopd.org)))および世界家庭医協会(WONCA)が協力する世界的なイベントです。各国の医療従事者や呼吸器専門医とのパートナーシップのもとに、COPDへの注意を喚起するためのさまざまな活動が実施されます。

2008年の世界COPDデーのグローバル・テーマは“Breathless not Helpless(息切れをあきらめないで)”です。

日本では、2008年の活動テーマを「肺年齢を知ることからはじめよう、いきいきシニアライフ ～かかりつけ医は40代からの肺機能測定を!～」とし、シニア世代の重要な健康問題であるCOPDの早期発見、予防に向けて、肺年齢への注目を高める情報発信を行っていきます。具体的には、次の3つの活動を実施します。

### 1. ホームページによる一般市民および医療関係者への情報提供

([www.gold-jac.jp/](http://www.gold-jac.jp/))

#### 【一般向けコンテンツ】

- ・肺年齢の解説と、スパイロ検査の動画説明
- ・COPDの疾病解説
- ・世界COPDデーおよび過去の活動について
- ・COPD関連統計データ
- ・WHOのCOPD関連コンテンツの日本語版(近日掲載予定) など

#### 【医療関係者向け】

- ・Flash動画による診療シミュレーション

- ・ガイドラインに基づくステージ別治療方針の紹介
- ・IPAG 問診票のダウンロード
- ・GOLD が提供する医療関係者向けツール（翻訳版）のダウンロード
- ・GOLD が提供する院内啓発ポスター（翻訳版）のダウンロード など

## 2. 日本の一般生活者の肺年齢に関する調査結果の学会発表

2002 年から 2007 年までの世界 COPD デーの啓発イベントで得られた約 3000 人の肺機能検査のデータを再解析し、第 13 回アジア太平洋呼吸器学会学術集会（2008 年 11 月 19 日-22 日 バンコク）で、順天堂大学医療看護学部専門基礎内科学教授 植木純先生が発表します。

啓発イベントに参加した一般生活者の肺年齢データから、肺年齢コンセプトの意義が明らかになるものと期待されています。データの概要は、12 月 3 日（水）に開催予定のメディアフォーラム 2008 で紹介する予定です。

## 3. メディアフォーラム 2008 の開催

報道関係者を対象に、COPD に関する最新の情報をお知らせするメディアフォーラムを、12 月 3 日（水）、三菱ビル コンファレンススクエアにて開催いたします。

過去 5 年間の世界 COPD デーの啓発イベントで得られた約 3000 人のデータを再解析し、今年の APSR（アジア太平洋呼吸器学会）で順天堂大学植木純先生が発表した「日本人一般生活者の肺機能と肺年齢」の概要紹介などを予定しております。

多くの報道関係者の皆さまのご参加をお待ちしております。

☞ COPD（Chronic Obstructive Pulmonary Disease：慢性閉塞性肺疾患）とは

喫煙が主な原因とされる肺の生活習慣病。気管支の炎症や肺の気流閉塞により呼吸困難を起こす慢性の呼吸器疾患で、息切れ、咳、喘鳴、痰の増加が特徴的な症状です。日本では 530 万人以上の患者がいると推計されていますが、実際に治療を受けているのは約 22 万人に過ぎず、残り 95%は未治療のまま病気を進行させてしまっている可能性があります。高齢化や喫煙開始の低年齢化に伴い、今後患者数が増加することが懸念されています。

また WHO（世界保健機関）の調査によると、COPD は 2020 年に死亡原因の第 3 位になると予測されており、世界規模での早急な対応が迫られている重篤な疾患の一つです。

☞ GOLD（Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease）とは

COPD に関する医療水準の向上と啓発活動を行うため、WHO と NHLBI（米国立心肺血液研究所）の呼びかけのもと、日本を含む世界 50 ヶ国以上の専門家が中心となり発足させた組織です。2002 年から、毎年 11 月のある 1 日を「世界 COPD デー」に制定し、COPD の予防、早期発見・早期治療の普及を目的にさまざまな活動を展開しています。今年の世界 COPD デーは、「11 月 19 日」です。

☞ 肺年齢とは（参考：肺年齢.net [www.hainennrei.net/](http://www.hainennrei.net/)）

肺年齢は、呼吸器疾患の早期診断・早期治療に向けて、肺の健康に対する関心を高めてもらうために社団法人 日本呼吸器学会が提唱するコンセプトです。呼吸機能は、年齢とともに低下しますが、同性・同年代の人と比べて自分の呼吸機能がどの程度であるのか、肺年齢というわかりやすい指標で確認できます。

スパイロ検査と言われる呼吸機能検査でわかる 1 秒量 (FEV<sub>1</sub>) と身長、性別から計算することができます。

☞GOLD 日本委員会 (GOLD Japan Committee: GOLD JAC) とは

GOLD の活動を推進するために 2007 年 10 月 6 日に発足した組織です。順天堂大学医学部呼吸器内科客員教授 福地義之助先生を委員長として呼吸器の専門医がメンバーとなり、賛同するスポンサー企業がこの活動を支えています。

2004 年より世界 COPD データ推進日本大会の企画・運営を行ってきた世界 COPD データ日本委員会を発展的に継承したもので、世界 COPD データ以外にも活動の幅を広げ、年間を通して COPD 啓発活動を行うことで、COPD 患者さんの QOL の向上および COPD 治療の発展に寄与することをめざしています。

#### ■GOLD 日本委員会 (GOLD JAC) 名簿

委員長	福地義之助 (順天堂大学医学部呼吸器内科 客員教授)
委員	相澤久道 (久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門 教授) 一ノ瀬正和 (和歌山県立医科大学アレルギー・呼吸器内科 教授) 栗山喬之 (千葉大学 名誉教授) 河野修興 (広島大学大学院分子内科学 教授) 永井厚志 (東京女子医科大学第一内科 教授) 長瀬隆英 (東京大学医学部呼吸器内科 教授) 西村正治 (北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野 教授) 三嶋理晃 (京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学 教授)
監査	木田厚瑞 (日本医科大学呼吸器内科 教授)
事務局・会計	瀬山邦明 (順天堂大学医学部呼吸器内科 准教授) 植木純 (順天堂大学医療看護学部専門基礎内科学 教授)
幹事会社	アストラゼネカ株式会社 アボット ジャパン株式会社 大塚製薬株式会社 キョーリン製薬株式会社 グラクソ・スミスクライン株式会社 田辺三菱製薬株式会社 帝人ファーマ株式会社 ニコメッドジャパン株式会社 ノバルティスファーマ株式会社 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 ファイザー株式会社

この資料に関するお問い合わせは下記までお願いします。

GOLD 日本委員会

ホームページ : [www.gold-jac.jp](http://www.gold-jac.jp)

事務局代行 : 株式会社エム・シー・アンド・ピー  
本岡／菅原

TEL.03-3597-0175 FAX. 03-3597-0177